

教育後援会だより

平成7年3月25日

第3号

発行/明海大学浦安キャンパス教育後援会

〒279 千葉県浦安市明海8
電話 0473-55-5112

第四回卒業生を送るにあたって



学長 大東百合子

本学外国語学部・経済学部にはじめて四学年が揃った年に入学した学生が、この度めでたく卒業する運びとなりました。ご両親、ご家族に心からお祝いを申し上げます。発足後間もない両学部を物心両面で支え、学生の生活を豊かなものにして下さった教育後援会の皆様には、特に厚く御礼を申し上げます。

顧みれば、今年卒業の学生は在学中、国内ではバブルの崩壊、リストラの導入、国際的には冷戦態勢の終結とそれに続く混乱、という大きな転機に遭遇し、この一年は学生自身がきびしい試練を体験する巡り合わせとなりました。異常な暑さの長い夏をリクルート・スーツで走り廻る姿には涙がこぼれました。首尾よく希望の職場を得た人にとってさえ、これからの道は決して平坦なものではないでしょう。世の中の激しい変化に即応できる心構えと力を養って、その中を強く生き抜いて行かれるよう願って止みません。

不動産学部は今年完成年度を迎えます。発足当時はもの珍しさが手伝って脚光を浴びた面もありますが、次第にその分野の研究・教育の必要性が理解され、新年度には企業推薦の入学者も迎えることとなり、産学協同の望ましい形として注目を集めるに至っています。昨秋三年在学の学生が不動産鑑定士試験の難関を突破したことも、新学部の評価を高め、同輩・後輩への大きな励ましとなりました。

第四回卒業生を送るに当たり、皆様の暖かいご支援に感謝申し上げますと共に、本学の教育への変わらぬご協力をお願い申し上げます。

学生に寄せる期待



学校法人 明海大学（副学長）
常務理事 宮田 侑

浦安キャンパスを開設し、はや七年が経過しました。この間、学生生活の充実と大学の発展を願い、教育後援会の活動を支えて下さっているご父兄の皆様に、心より感謝申し上げます。

二十一世紀を数年後に控え、社会の変化は止まるところを知らません。それどころか、更にスピードが増し、その変化も非常に大きくなっています。

大学の教育・研究というものは、常に時代を反映していなければならず、この変化に対応すべく努力を続けております。しかし最も大切なのは、来るべき二十一世紀を担う若者達がこの変化をどのように次の時代に生かしていくかということです。

学生と接していると、非常に新しい強いエネルギーを感じる事ができますが、実はこの力が二十一世紀を担い、国際社会の中のものからの日本を動かしていくのです。私はこのエネルギーに大いなる期待をかけ、夢を託しつつ教育すること、それが本当の教育だと思えます。

明海大学は、前身の城西齒科大学の歴史を入れてもまだ二十五年ですので、歴史は非常に新しく、それだけに硬直化した体質がないと言えるでしょう。そんなメリットを生かし、これからも、大学、学生、教育後援会、同窓会が一体となり、新しく、良いもの、ほんどん取り入れ、行動に移していく、そんな大学にしていきたいと思っています。

リーダーズ研修会報告

暮れも押し迫った十二月二十五日から二十七日までの三日間一九九四年度浦安キャンパスリーダーズ研修会は、山梨県「富士緑の休暇村」に於いて行われました。

大学からは大東学長、藤本学生部長をはじめ教職員十七名、学友会からは、中山学友会長をはじめ課外活動団体の現・次期部長七十四名、また、教育後援会からは、ご多忙中にもかかわらず白石会長にご参加いただきました。「明海大学生としての帰属意識と連帯感を深めるとともに、大学の公認団体

代表としての意識、指導力等の向上をはかり人材を育成すること」を目的とするこの研修会で、今回特に印象的だったのは、川口学生委員(不動産学部専任講師)と杉浦学生委員(不動産学部専任講師)による、「私の学生生活」と題する講演会でした。

今回で四回目の卒業式を迎えるまだ新しいキャンパスの特性として、自由に自分達で考え活動してゆける反面、歴史のある大学と同じ様な組織作り、運営といった面では、まだ遅れをとっているのが現状です。

しかしながら、両学生委

1994年度 浦安キャンパスリーダーズ研修会



員の実体験に基づく話を、真剣な眼差しで聞く学生の姿に、課外活動団体により一層の飛躍を確信しました。

また、翌日行われた分科会では、単に課外活動の振興をはかるだけではなく、この明海大学をより良い大学にしてゆくために、各個人・団体が何をなすべきか、何ができるかという話にまで発展し、学生・教職員という垣根をはずし全ての参加者の間で活発に意見が交わされました。

昨年度の研修会の成果として行われた「マナー向上キャンペーン」(本紙二号既報)や、学友会、教育後援会共催の「新生ウエルカムパーティ」等も今回の研修会を基に、より充実したものとなっていくでしょう。

筆末ではございますが、白石会長の参加のみならず、資金面でも援助いただいた、教育後援会の皆様に厚く御礼申し上げます。



第一回地区懇談会終わる

本会発足当初からの念願でありました地区懇談会をこの度ついに開催することができました。開催場所は、いろいろ検討しました結果、人数的にも距離的にも東北地区が妥当ではないかということになり、福島市において第一回の懇談会が開催されました。当日は、父兄の方から予想を上回る約五十名の出席があり、教育後援会からは白石会長、岡本名誉会長、貝原副会長が出席され、大学側からも大東学長、石原不動産学部長、成瀬教務部長、藤本学生部長他役職者が多数出席されました。懇談会の主な内容としては、教育後援会報告、大学現況報告、同窓会紹介、大学紹介ビデオ放映、質疑応答などがあり、最後に各学科の先生方との個別面談が行われました。これらの中でも特に盛況だったのは、最後に行われた個別面談で、各学科とも長い列ができ、父兄の方もやはりご子弟の学生生活や成績、また四年生の就職状況などに興味を持たれているようで大変熱心に先生方と面談されていました。なお、今回出席された父兄の方にアンケートを行いましたところ、大変評判がよく、教育後援会、大学関係者とも大変喜んでおられます。おかげさまでなんとか第一回の地区懇談会を終えることができましたが、何分はじめてなもので不備な点も多々ございましたが、今後は今回の貴重な経験を踏まえ、更に充実した会にしたいと考えておりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

最後に、今回の懇談会で大変お世話になりました教育後援会および大学関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

1. 今回の地区懇談会の印象は？

(回答 29件・無回答 11件)

- ・内容が分かりやすく良かった 4件
- ・参加して良かった 7件
- ・個別面談の機会があり、大学側の熱意が感じられた 4件
- ・良かったが、面接時間が短かった 4件
- ・面談が出来なく残念 1件
- ・思ったより出席者が多かった 2件
- ・良かったが、参加者が少なかった 1件
- ・座席を県別にまとめてほしかった 1件
- ・子供のキャンパスに近づいた気がする 1件
- ・4年生なので、もっと早くこんなチャンスがほしかった 1件
- ・父兄同士の交流が度々ほしい、今年のような就職難の時は情報交換になるし、学校のPRにもなる 1件
- ・もう少し細かい事まで知りたかった 1件
- ・自分のキャンパスの頃との違いにおどろいた 1件

2. 大学に対しての要望は？

(回答 14件・無回答 26件)

- ・資格修得への協力、努力がほしい(以下各1件)
- ・日本の不動産の現況に合った実数を教えてほしい
- ・東北地区では知らない人が多いので、もっとPRしてほしい
- ・OBとの連絡を密にしてほしい
- ・クラブ、サークル活動が多種目でできる施設、設備がほしい
- ・クラブ、サークル活動でマイナーなスポーツにもチャンスを
- ・部活以外の図書や読書の充実(種類もさることながら、同一図書の数化)
- ・知名度を高める努力をしてほしい
- ・卒業後、宅建取引士資格テストに合格できる指導をしてほしい
- ・後援会や大学の状況をもっとPRしてほしい
- ・就職活動の援助をしてほしい
- ・学生に対し厳しく、個性を伸ばす教育をしてほしい
- ・情報サービスの充実向上
- ・情報が一方的できめこまやかでない

1995年度入学者選抜試験第一部 1期入学者志願者状況

(1) 志願者

学 科	1995年度	1994年度	1993年度
日 本 語	242人 (57.0%)	424 人	320 人
英 米 語	1,248 (75.0%)	1,663	1,919
中 国 語	319 (72.8%)	438	333
小 計	1,809 (71.6%)	2,525	2,572
経 済	3,363 (85.6%)	3,928	4,948
不 動 産	1,493 (78.6%)	1,899	2,664
歯	798 (71.8%)	1,111	1,003
合 計	7,463 (78.9%)	9,463	11,187

() 対前年度比

(2) 男・女別志願者比率 (1993・1994年度は全志願者の比率)

学 科	1995年度		1994年度		1993年度	
	男	女	男	女	男	女
日 本 語	%	%	%	%	%	%
英 米 語	44.2	55.8	52.2	47.8	54.7	45.3
中 国 語						
経 済	90.7	9.3	89.8	10.2	90.9	9.1
不 動 産	90.4	9.6	91.0	9.0	92.4	7.6
歯	75.6	24.4	76.4	23.6	75.8	24.2

(3) 現・浪別志願者比率 (1993・1994年度は全志願者の比率)

学 科	1995年度		1994年度		1993年度	
	現	浪	現	浪	現	浪
日 本 語	%	%	%	%	%	%
英 米 語	69.8	30.2	57.5	42.5	55.4	44.6
中 国 語						
経 済	48.4	51.5	42.2	57.8	41.2	58.8
不 動 産	42.7	57.3	36.9	63.1	31.8	68.2
歯	23.6	74.3	28.2	71.8	30.0	70.0

一九九五年度入学者選抜試験(第一部・二部第一期)は二月一日(水)から二月四日(土)まで浦安キャンパス(外国語学部・経済学部・不動産学部・歯学部・歯学部キャンパス(歯学部)、代々木ゼミナール原宿校(経済学部)でそれぞれ実施されました。一九九二年度の二〇五万人をピークとして経年的に減少している十八歳人口層の影響を受けて大学全体の志願者が大幅に減少しています。本学の場合も昨年同様に比較して二一%の減少(別表)がみられました。また今期志願者の特徴として外国語学部において女性の志願比率が五〇%を超え、全学部において現役の志願比率が大幅に増加している点が上げられます。また志願者の地域性をみると関東地域からの志願者が八八%と過去最高となり特に千葉県からの志願率が四二%に達し千葉県の大学として定着してきています。三月六日(月)から九日(木)まで同試験の第二期試験が実施され一九九五年度入試の全体像が明らかになります。

実施状況について

一九九四年度就職状況について

就職指導室

一九九四年度の就職環境は極めて厳しく、リクルートリサーチ社が七月に発表した九五年三月卒業予定の大学生求人倍率は、四年連続で低下し文系男子一・二一倍、女子〇・六一倍で、特に女子学生の就職難は社会問題として、マスコミをはじめ各方面で取り上げられました。

企業の多くは採用予定が少数のため、初期の段階で筆記試験（一般常識テスト、適正検査、論文文：）を実施し多数の振るい落としを行い、面接の機会を一度も与えられずに涙を飲むケース、また面接も従前では平均二〜三回だったものが四〜五回に増加したり、最終面接後の採否回答を引き伸ばすなど、これまでになく大変厳しい採用試験となりました。

就職指導室では、三年次に就職試験対策講座や企業の人事担当者による模擬面接会、随時の就職相談などを実施し、早目の対策、準備を進めてきました。年明けの一月に相談に来る学生が例年になく目立つ長期化した就職戦線となりました。

しかし、このような環境にもかかわらず、積極的なアプローチと粘りて内定を勝ち取った学生も多く見受けられました。四年生の卒業後進路は把握作業がまだ継続中のため、最終結果につきましては機会を改めさせていただきますが、現在までの状況は次のとおりです。

○就職内定率（一九九五年一月三十一日現在。進路報告率七一％）

第一部

外国語学部 五九％ 経済学部 八二％

第二部

外国語学部 五六％ 経済学部 七八％

○大学院進学者

第一部外国語学部五名、経済学部二名。

※この他、「海外留学、大学編入、専門学校入学、契約社員、アルバイト、留年予定者が二〇％」

○主な就職内定先

積水ハウス、大成建設、日比谷総合設備、旭硝子、オムロン、東洋通信機、白十字、トステム、日本無線、日本瓦斯、大和冷機工業、伊藤園、アルインコ、イトキン、角川書店、宇徳運輸、日本梱包運輸倉庫、名鉄運輸、名鉄観光サービス、東邦薬品、ゼンチク、亜土電子工業、エトワール海渡、小林製薬、國分、東芝メデイカル、ヤオハンジャパン、ツルカメモコーポレーション、大塚家具、住商オットー、ヴィクトリア、ミナミ、山本海苔店、ブランタン銀座、紀伊国屋書店、聚楽、第一勧業銀行、武蔵野銀行、中部銀行、トマト銀行、安田信託銀行、朝日信用金庫、荒川信用金庫、江戸川信用金庫、日興證券、和光証券、水戸証券、ファーストクレジット、ジャックス、日立クレジット、プロミス、アコム、商工ファンド、ダイア建設、アスクプランニングセンター、明和地所、三菱地所住宅販売、東京ベイヒルトン、明治記念館、国際協力事業団、千葉県観光公社、国家公務員Ⅱ種、国税専門官、警視庁、市川市役所、群馬県中学校教員、文教高等学校教員ほか。

新年度も現在の経済情勢が推移する限り、一層の厳しさが予想されます。ご父母におかれましても、幅広い視野をもった就職活動をするよう、ご指導いただきますようお願い申し上げます。

事務局より

○今度の兵庫県南部地震で被災された皆様にお見舞い申し上げます。浦安キャンパスに通う学生の実家の方々は、幸いにもあまり大きな被害もなく生命への危険も無かったようでホッとしております。気候の方も暖かくなってきました。頑張ってください。

○昨年の十二月に奨学金の審査がおこなわれ、一月に授業料の半額を三人に貸与しました。これからも順次奨学生を増やしていく予定です。あまり成績の方は問いませんので学費支弁者が亡くなられたりされた時には学生課まで申し込んで下さい。○大学の周囲の道路に学生の車による違法駐車が多く近隣の住民に多大な迷惑をかけています。学生に開放された駐車場がありません。駅からも近い学校です。できるだけ車での通学はやめさせて下さい。

○この三号は卒業生のために各学部、学科の先生方に特別に一言ずつ書いていただきます。先生方のお言葉を心にとめて社会に旅立って下さい。お目出度うございます。